



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目標そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区西神奈川1-18-2永田ビル3F
Tel045-430-5704 Fax045-430-5666
発行責任者:杉田
編集:宮川・吉越・斉藤・北村
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

I 神奈川スキー協・春祭典行事報告

実行委員長 齊藤（和）



ファミリースキー時代から数えて今回で 44 回目となる春のスキーの集い「春スキー祭典」が開催されました。期日は3月28日夜出発、3月31日帰着の2.5泊の3日間。場所は志賀高原の一の瀬スキー場、ホテルはゲレンデまで30mの「ジャパン志賀」参加者は指導員も含め32名で行われました。

初日、一の瀬ゲレンデ前の広場で開会式を行いました。杉田実行委員長の挨拶の後、学校長の齊藤から、各スキー教室の生徒の名前と担当する指導員が紹介され、ボード1クラス、スキー3クラス、雪遊び1クラス、（といっても滑りまくってました）とフリーに分かれてゲレンデに散らばって行きました。この時期は日も長くしかも温かさも増してくるので、スキー場巡りにも最適の季節です。特に志賀高原は一の瀬ダイヤモンドスキー場からファミリー、タンネの森、寺子屋、東館、西館、高天ヶ原、発哺ブナ平、ジャイアント、蓮池、丸池、一番下のサンバレーまで12のスキー場が1枚のリフト券でツアーができる最高の場所でもあります。2日目雨が雨の予報もありほとんどのクラスがツアーに出かけました。

2日目、雨の予報は下界の話のようで志賀高原は雪、朝食の間も降り積もり、かれこれ10cmの積雪、この時期にもかかわらず湿気のない雪。積雪は深からず、浅からず、新雪好きにはたまらないコンディションとなりました。夕食後はホテルの「オーケストラホール」で交流会。初日の各クラスのビデオ映像を、プロジェクターを使った100インチほどの大画面で鑑賞しました。指導員の解説と自分の滑りを見て喜んだりがっかりしたり、最後にゲームをして交流会を終了しました。

最終日は昼までのフリータイム。それぞれ、家族や気の合った仲間とフリー滑走を楽しみました。フリー組の中には横手山まで出張し（シャトルバスがある）前日の焼額山、奥志賀合わせて全山制覇の強者もありまし

た。いろいろな楽しみができる神奈川スキー協、志賀高原の「春スキー祭典」、来シーズンも、多くの方の参加をお待ちしています。

<現地参加者からの感想です>

- ・今年も孫と参加でき嬉しく思います。滑るかな、滑ろうが1年の目標です。目標があることが人生を豊かにしますね。大切な目標の一つです。
 - ・コブの滑り方を教えてもらい勉強になりました。もっと練習してコブをスムーズに滑れるようになりたい。
 - ・前より小回りターンがスムーズに出来る様になったかなと思うので、よかった。
 - ・天狗コースの最後の抜け道で神社を見つけました。きれいにしたり、五円玉のお賽銭もあげ、すっきりしました。
 - ・寺子屋→ジャイアント→サンパレーまでツアーして、色々な雪質、斜面を楽しみ、私が一番楽しんでいたかな～。
 - ・一の瀬の天狗コースのレースや、裏道めぐりが楽しかった、裏道では道を作りました。
 - ・林間コースで木と木の間を滑って、ジャンプして滑ったり、蓮池からジャイアントへ向かう所は足が痛くなりました。そのコースは二度と行きたくありません。
 - ・2日目のボードレッスンで、確実に上達したと思います。クラスも楽しかったです。3日目も楽しく滑ります。
 - ・横手山に行って来ました。昨日の焼額山奥志賀と昨年分合わせて、全山制覇でも、一の瀬が一番いいかな。
 - ・昨日は3回くらい転んだけど、今日は1回も転ばなかったよ。 現地白銀より文章を短くしました。
- ～．

Ⅱ 神奈川スキー協・盛り沢山のクラブ行事報告

今回の機関紙はクラブ行事報告を記載し、神奈川のクラブは元気なことを発信します。記事をいただいた皆様有り難うございます。

○尾瀬岩鞍報告・悠遊S C

2月3日～5日にて今シーズン2回目のスキーまつりを尾瀬岩鞍にて実施した。26人の参加である。朝バスにて東神奈川を出発、途中、道の駅で酒を仕入れ宿に到着。昼食後グレンデに集合。青空をバックに記念写真を撮り、早々にゴンドラで頂上へ、上州武尊山、日光白根山等の周辺の山々がくっきり見える。各クラスに分かれて足慣らし。

2日目、夜明け前から激しい雨音で起こされる。低気圧が通過している様子。朝食の時もみんな不安そうに外をみながら食事。予報ではもうすぐ通過する模様。グレンデに出てみると雨はやんでいる。ホットしたが今度は強風のためゴンドラが止まっている、仕方なしにリフトで登る。西山グレンデも閉鎖。上は風が強く雪が舞っている。アイスバーン気味である。それでも悠遊は一日たつぷりと滑る。

夜はお待ちかねの懇親会。赤倉スキーまつりに続き、80歳スキーヤーのお祝い会。二人に記念のフラッグを贈呈。またうれしいお知らせで非会員で参加したご夫妻の入会のお祝い。その後コーラス、民謡、独演会と大いに盛り上がった。

最終日、この日は晴天。今シーズンから開放された西山グレンデ奥の30cmほど新雪が積もった非圧雪帯を有志にて滑る。ほど良い不整地で気持ちが良い。午前中いっぱい滑り宿へ戻る。途中、川場の道の駅に寄りお土産をゲットして、海老名にて解散。けが人もなく楽しいスキーまつりでした。 (北村)



○ D S S C五竜スキー行



2月16日17日、総勢15名で五竜&47スキー場に行ってきました。50周年記念ウェアにクラブのロゴが入ったウェアで勢ぞろい。県の祭典に間に合わなかったので写真で公開します。さてメンバーですが、新加入の高橋さんと2人の娘、(ちなみに22歳と16歳)S夫妻と2人の孫、T夫妻、B夫妻、I夫妻と5才の子供、Yさんの15名。

五竜は5年ぐらい続いています。一番の理由は初心者、初級者用の斜面や講習に最適な斜面があることです。孫達も5歳ごろから参加しています。今ではパラレルもどきまでになりました。妻はもう孫たちのスピードについて行けないと言っています。

今回は初心者もいるということで、初日はスキー教室。初心女子二人の担当にI指導員、マダム3人に別名マダムキラのB氏、カットビ大好きの暴走する子供3人は面白指導員のタムチョー氏(ライン時の名前)そしてキングカズと新入会の高橋氏とY氏の4教室とただ一人のボードで勝手気ままな若旦那、に分かれスキー教室を開催しました。

2日目はフリースキー。ゴンドラで頂上に出て47方面にも行きました。天気も快晴になり八方尾根がよく見えました。2日間ケガもなく終了しました。初心者2人もかなり滑れるようになり、クラブ入会も視野に入りそうです。(齊藤(和))

○横須賀スノードルフィ (3/4~7)



スノードルフィンの3月のスキー行は、ピラタス蓼科スキーリゾートに行ってきました。泊まった宿は、「ペンション・モルゲンロート」。聞き覚えのある名前ですね!

そうです、横浜モルゲンロートSCの会員だった谷沢ご夫妻が経営しているペンションです。

ペンションをオープンさせてから、おおよそ30年。その間は、2~3年に一度は訪れているスノードルフィンって、すごいでしょ! 気に入った宿は、大切にします。3月にこのゲレンデを選んだのは、雪質。例年ですと戸狩とか八方とかに行っていますが、水分を含んだ雪になってしまうのが残念。ということで、標高が高いところにあるゲレンデという

ことで、ピラタス蓼科スキーリゾートに来ました。

9日(土)は終日晴天。青空が高く、暖かく、ウェアのファスナーを開けて滑るという状況でした。よって、朝一は、

しっかり締まっていた雪も午後には水分をたっぷり含み、シャーベット状に。

10日(日)は、一転の曇天。多少暖かではありましたが、雪は一日中締まっていて、狙ったとおりとなりました。

今シーズンはこれで、滑り納め。来シーズンは、どこに滑りに行くか、いまから総会が待ち遠しいです。

「ペンション モルゲンロート」のHP <http://www.p-morgenrot.com/>

ワンちゃん写真館の3月10日に当日行った7名が写っています。 <http://p-morgenrot.jugem.jp/>

(古屋)



○ 蔵王スキーまつり報告 (3/4～7日)

新幹線でかみのやま温泉駅へ。そこから貸切バスにて蔵王温泉に到着。今回で3年連続の蔵王である。快晴の素晴らしい天候で各班ともさっそくゴンドラで頂上へ、地蔵岳をバックに集合写真を撮る。

2日目、みぞれ混じりの中を出発。上の方は雪、ただし途中でガスってしまい前が見えない。それでもめげずに滑る。夕食時に80歳代スキーヤーのお祝い。その後、班別ミーティングを開催。指導員の特徴の出した内容のようだったが、いずれの班でも「得るものがあつた」など大変好評であつた。



3日目は、晴天の中を存分に滑る。この日、教室中にボーダーに背後から衝突される事故が発生。頭部を打撲したと山形大学病院へ救急搬送。特に異常はないということでホッとした。ただ念のため次の日帰宅。夜は「夕食交流会」で金子直さん、高橋さんによる「おかめひょっこ」が演じられ、大喝采。その後、女性コーラス、山の歌・スキーの歌をみんなで歌い、大いに盛り上がった。

4日も晴天の中、各班とも満足するまで滑る。今回は気温が高くアイスバーンと湿った雪質でコンディションはあまり良くなかったが、クレージートラバースとか蔵王のコブコースをすべて制覇、また横倉の壁も有志で滑り充実したスキーまつりであつた。(北村)

○障がい者交流スキー・湯の丸スキー場

1月19.20日で行われた障がい者交流スキーは視覚・知的障がい者：8名、ガイド：12名、一般：2名、小学生：3名の参加で行われました。初めて参加した小学生は帰るまでにはリフトに乗り、ゲレンデのイベントに参加し初めてスノーモービルに乗った方もおりました。(加瀬)

○だいすきクラブすき一行報告・白馬乗鞍

だいすきクラブは、3月2日(土)、3日(日)の二日間の日程で、クラブスキー行を、小谷村の白馬乗鞍スキー場で行いました。参加者は、障害者7名、ガイド7名、一般7名で、ガイドの手配ができずぎりぎりのところでの開催となってしまいました。

会員の高齢化と体調不良など、計画を立てる段階から支障がでていました。このスキー場は、私たちにとってとても大切なところなのですが、いつまで利用できるかちょっと心配です。とはいえ、今回は、新しい

息吹も感じることができました。和泉さんの娘さん一家が家族で参加してくれ、子供たちがスキーを大好きになってくれ、先が楽しみです。

子供たちは、小学3年生と1年生、幼稚園児の3名で、土曜の午前中に宮沢さんの指導を受けました。私と和泉さんとは、久しぶりに生き生きと指導する宮沢さんを見ました。近年リュウマチでスキーが履けないと言っていたのですが、なんのなんの宮沢マジックは、相変わらず健在で、子供たちは、基礎をしっかりと身につけていました。この子達が、ガイドとして育ってくれるまで気長に待ちましようか。（石川絹代）

○ 2年ぶりのスキー怪我からの復帰

2年前の指導員養成講習の一環として、STT練習中に左脚部骨折、初滑り中のことでした。骨折後、10ヶ月、さらに治療、リハビリ7ヶ月で復帰。さてスキーですが、今回2年ぶりとのことで多少おっかなびっくりで、スキーも軟らかめのモノに替えてみました。結果、普通のバーンであれば、スピードを抑えて滑れば大丈夫。ただ、悪雪とかコブは無理。また、久々にアフタースキーも楽しめました。ケガした時は、スキーは引退しようかと考えましたが、出来て良かったと思っています。この先も無理をしないで、長くスキーと向き合っていきたいです。

（モルゲン・加藤・文章を短縮しました）

Ⅲ 全国スキー協 50th に参加して・・・

○ 全国競技大会

50周年ウィークの最初に行われた全国競技大会に参加しました。初日はGS競技。クラブの剛ちゃんから借りたR23のGS板で挑戦しました。インスペクションでは最初の急斜面にビビりながらも、2本合計で5位入賞しました。SLは一步及ばず7位という成績でした。コースは前日の雨でカチカチのバーンに、100人以上滑ってもほとんど掘れることがありませんでした。そんな中、翌日のSLで事件が、前走1番の長谷川さんの後の「前走2番、携帯」が斜面を疾走、そのあとには前走3番「子供」が滑り落ちました。おなかの中で笑っていましたが、携帯が自分のものと判明。中断させて申し訳ありませんでした。（齊藤 和敏）

神奈川のメンバーでは翔平、喜子、秀久、将太郎、健吉さんが入賞しました。

初めて滑った「ラ・メールコース」GS標高差200mで旗門数29無事2本完走しましたが、小4のS君に「2.32秒差」つけられてしまい、競技参加も終わりかな～。世代交代の始まりを感じましたが、2日目のSLで挽回し標高差150m旗門数50で2本完走し、6位に入賞しました。S君まだ負けないよ～。（mario）



翔平さん、喜子さん、将太郎くんがスキーマイトの表紙に！ GoodSmile!

Ⅳ 神奈川県スキー協 事務局報告

●神奈川県スキー協 50 周年記念レセプションのお知らせ

神奈川県スキー協議会は 1969 年 4 月 14 に 4 クラブ 38 名で結成・創立され、今年で 50 周年を迎えます。50 周年を機に、スキー関係者、クラブ会員に集まって頂き、更なる発展を目指すレセプションにしたいと思えます。ぜひ、クラブ員同士で誘いあってお出かけ下さい。

とき：2019 年 6 月 22 日（土）13 時（受付 12：30 開始）

場所：横浜市波止場会館（<http://www.hatoba.jp> TEL：045-201-3842）

アクセス：みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩 5 分（徒歩約 250m）

横浜駅、桜木町駅よりバスでお越しの場合 大榎橋バス停より徒歩 3 分 市営バス 26 系統

会費：5,000 円

※クラブからのご参加の場合は、事前にクラブ事務局へ連絡をお願いいたします。

※クラブ外からのご参加の場合は、神奈川県スキー協までメールをお願いいたします。

●事務局からのお知らせ

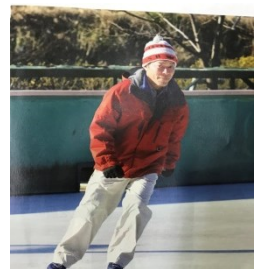
昨シーズンから神奈川県スキー協の WEB サイト（ホームページ）が変わりました。新しいアドレスは

<https://kanagawaski.org> です！これに合わせてメールアドレスも変わりました。新しいアドレスは mail@kanagawaski.org です！資料の提出など、お間違いのないよう、お願いします。

また、今期から機関紙「白銀」の電子版を、個人情報に配慮した上で Web サイトへ掲載いたします。総会のテーマにもあった「内向きの活動から外向きの活動へ」を実践していきたいと思えますのでご協力よろしくお願いいたします。

<訃報>

横浜モルゲンロートの斉藤貢会長「通称：アントンさん」が、4 月 4 日お亡くなりになりました。葬儀は家族葬で 4 月 9 日に行われました。今シーズンは全国中央研修会、2 月のクラブスキーなどに参加し、楽しい思い出を持って天国へ向かいました。享年 63 歳、ご冥福を祈りいたします。クラブ会長を 20 年勤めました。



◆編集後記◆

2 月の白銀発行が 3 月になり申し訳ありません。4 月号も 5 月発行となってしまうました。

気候も良くなり、桜の花にも長く楽しめました。スキーシーズン中なのでなかなか「花見」ができませんが、最後の悪あがきで GW に 3 クラブがスキーを計画されています。雪質の良い午前中にスキー・ボードの滑走を楽しみ、午後からは B B Q と雪山を楽しみ、早めの宿入りで楽しい仲間と一杯でスキー談義。シーズン中は神奈川県スキー協は 5 名のスキー事故がありました。祭典行事、クラブ行事について安全な怪我の無い行事を目指しましょう。

(M)